作成者:今井　美穂

科　目　名	学科／学年	年度／時期	授業形態
美容学Ⅰ	ビューティー総合学科/1年	2024/後期	講義

授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	今井　美穂

授　業　の　概　要

ICAMコースサーティフィケート、JEECエステティック試験センターを受験のため、エステボディ、エステフェイシャルのお客様カルテを元にエステカウンセリングが出来、ホームケアアドバイスが出来るようになる。

授業終了時の到達目標

・肌診断が出来、使用化粧品、エステ機器が選択でき、肌に合わせた施術が出来る。
・身体の状態を把握し、状態に合わせた施術が出来る。
・ホームケアアドバイスが出来る。（使用化粧品、生活、栄養）
・エステ基礎知識を修得する。（関連法規・電気機器学・皮膚・栄養）

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、11年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1	エステティックカルテとは P266.289	目的・内容・カウンセリングでお聞きすること・ホームケアアドバイスまで概要を学ぶ。
2	スキンタイプの分類 P40-48	スキンタイプ別特徴を理解し、お手入れのポイントや注意点を判断する。皮膚の役割と美しい肌の条件を学ぶ。
3	トラブルスキンの種類 P49-57	トラブルスキンの特徴を理解し、原因の究明や改善に向けた施術やアドバイスを学ぶ。
4	解剖生理学（人体の骨組み/骨格、構造、連結）P69-74	骨の名称、基本構造について。骨と骨格を理解し、関連性を知る。
5	解剖生理学（人体の主な筋肉、構造）P75-80	種類・特徴・マッサージ効果とは。骨格筋の働きと場所を理解する。それに合わせた手技の組み立て方を学ぶ
6	解剖生理学（循環器系と免疫系） P94-98、P114-119	心臓の構成と働き。循環経路、血液、リンパ液の働きを理解し、しマッサージとの関連性を学修する。
7	基礎化粧品の分類と　　化粧品原料について P120-145	化粧品に配合される特徴成分を理解し、施術に使用する目的と効果を学ぶ。
8	栄養学(６大栄養素) P156-170	栄養が健やかな皮膚や身体をつくる働きを理解し、お客様に活きたアドバイスができるよう基礎知識を学ぶ。
9	栄養学(基礎代謝と食品のバランス) P171-184	現代の食生活、肥満のメカニズム、栄養と体調の関係を理解し、栄養学を食生活に活かすことができる。
10	フェイシャル実技理論 P266-286	コンサルテーションシートをもとに、スキンチェック、化粧品や美容機器の選定、ホームケアを学ぶ。
11	ボディ実技理論 P288-305	コンサルテーションシートをもとに、ボディチェック、マッサージの目的と効果、食生活、ホームケアを学ぶ。
12	解剖生理学(神経、内分泌、消化器系)　P81-93、P99-102	神経・内分泌の働きと関連性、肌への影響を理解する。消化の仕組みと関連ホルモンの理解をする。
13	エステティック関連法規 P220-230	エステティック業と関わりのある分野を知り、職業の範囲を学び、関連法規を理解し遵守する。
14	コースサーティフィケート 筆記試験対策①	美容機器・衛生消毒・救急法・カウンセリング・ワックス脱毛等、筆記試験範囲のポイント共有と習得。
15	コースサーティフィケート 筆記試験対策②	美容機器・衛生消毒・救急法・カウンセリング・ワックス脱毛等、筆記試験範囲のポイント共有と習得。

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	その他

回	テ　ー　マ	学修内容		
	ベーシック　エステティック学 （一般社団法人　ICAM日本支部）	期末テスト 小テスト	80.0% 20.0%	確認小テストで 理解が浅い部分の 復習を行う。

作成者:高崎　千愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
化粧品学		ビューティー総合学科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	示野　雅枝

授　業　の　概　要

エステティシャンは化粧品を用いて施術を行い、美容部員は化粧品を販売し、ネイリストも爪の構造、ネイルに必要な化粧品知識を理解し、肌トラブル原因、対処法、化粧品成分を学習し化粧品を読み解くことが出来るようになる。

授業終了時の到達目標

・皮膚構造についてトラブル別に理解出来る
・肌タイプの特徴が理解出来る
・老化の外的要因・内的要因を理解出来る
・美しい肌を作る知識を修得する

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、20年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1	間違えがちな美容知識のチェック①	基礎化粧品の基礎知識と肌悩みの対処法について理解する
2	間違えがちな美容知識のチェック②	スペシャルケア、日焼け止め、メイクアップ、ヘアケア、ボディケアに関する化粧品の基礎知識の修得
3	皮膚構造と仕組み①	皮膚構造、すくみと働き、皮膚が持つ防御機能を理解する
4	皮膚構造と仕組み②	表皮のターンオーバー、基底層、真皮、皮膚の付属器官を理解する
5	皮膚の機能と章まとめ	皮膚の仕組み、役割、機能、名称、図解を修得する
6	肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方、季節と肌について理解する
7	肌悩みの原因とお手入れ①	乾燥肌と保湿成分、お手入れ法を理解する
8	肌悩みの原因とお手入れ②	ニキビ肌の原因、お手入れ法、予防法について理解する
9	肌悩みの原因とお手入れ③	ニキビ予防における医学部外品の有効成分、ニキビ跡のお手入れ法について理解する
１０	肌悩みの原因とお手入れ④	毛穴についてタイプ別原因とお手入れ法を理解する
11	肌悩みの原因とお手入れ⑤	シミのメカニズムと医薬部外品の有効成分について理解する
12	肌悩みの原因とお手入れ⑥	シミのタイプ別原因とお手入れ方法について理解する
13	肌悩みの原因とお手入れ⑦	くすみのタイプ別原因とお手入れ方法について理解する
14	肌悩みの原因とお手入れ⑧	くまのタイプ別原因とお手入れ方法について理解する
15	肌悩みの原因とお手入れ⑨	しわのタイプ別原因とお手入れ方法について理解する

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
日本化粧品検定2級・3級対策テキスト 日本化粧品検定2級・3級対策問題集	期末試験 小テスト	80.0% 20.0%	各講義でのノートと問題集を使用し復習を行う

作成者:高崎　千愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
化粧品学		ビューティー総合学科/1年	2024/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15 回	30単位時間	必須	示野　雅枝

授　業　の　概　要

エステティシャンは化粧品を用いて施術を行い、美容部員は化粧品を販売し、ネイリストも爪の構造、ネイルに必要な化粧品知識を理解し、肌トラブル原因、対処法、化粧品成分を学習し化粧品を読み解くことが出来るようになる。

授業終了時の到達目標

・皮膚構造についてトラブル別に理解出来る
・肌タイプの特徴が理解出来る
・老化の外的要因・内的要因を理解出来る
・美しい肌を作る知識を修得する

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、20年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1	メイクアップの基本テクニック	各アイテムの基本的な使用法、選び方、顔型によってのメイク法、ツール選びを理解する
2	肌悩みに応じた化粧品の使い方①	毛穴、ニキビ、シミ、くま、赤ら顔、メイク崩れをカバーするメイク法の理解
3	肌悩みに応じた化粧品の使い方②	各種肌トラブルの状態と改善法を理解する
4	肌を劣化させるさなざまな要因①	外的要因・内的要因・代謝不良による肌への影響を理解する
5	肌を劣化させるさなざまな要因②	ストレス・疲労・ホルモンの作用が肌に及ぼす影響を理解する
6	肌を劣化させるさなざまな要因③	まとめ小テストを通し定着した知識の修得
7	紫外線が肌に与える影響①	紫外線の種類・量・肌に及ぼす影響を理解する
8	紫外線が肌に与える影響②	サンケア指数の理解と紫外線ケアについて理解する
9	紫外線が肌に与える影響③	まとめ小テストを通し定着した知識の修得
１０	効果的なマッサージの必要性と方法	表情筋・リンパの特性を知り効果的なマッサージ法を理解する
11	美しい肌を作る生活習慣①	睡眠がもたらす効果・美肌づくりの栄養・カフェインとの付き合い方を理解する
12	美しい肌を作る生活習慣②	運動の種類による効果・入浴がもたらす人体への効果を理解する
13	化粧品検定模擬試験①	模擬試験を通して自分の弱点を知り苦手知識の克服
14	化粧品検定模擬試験②	模擬試験を通して自分の弱点を知り苦手知識の克服 前回の正解率から20%アップを目指す
15	化粧品検定模擬試験③	模擬試験を通して自分の弱点を知り苦手知識の克服 時間内に全問解け正解率が80%を目指す

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
日本化粧品検定2級・3級対策テキスト 日本化粧品検定2級・3級対策問題集	期末試験 小テスト	80.0% 20.0%	各講義でのノートと問題集を使用し復習を行う

作成者:高崎　千愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
エステティック基礎 （エステ基礎Ⅰ）		ビューティー総合学科/1年	2024/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	今井　美穂

授　業　の　概　要

エステ（フェイシャル）の分野においての基礎知識（例えば、なぜその手技を行うのか、行う事での効果は何か、どの部分に効果があるのか、どの筋肉・皮膚に効果があるのか、商材の成分にどんな効果があるのかなど）を、実際に相モデルで実践しながら学修する。

授業終了時の到達目標

・相モデル（お客様の立場）で接客マナー（心配り）も合わせて理解できる。
・皮膚のトラブルの違いでのマッサージが出来る。
・サロンワーク実務（AER）の誘導から技術お仕上げまでが出来るようになる。
・フェイシャルコースサーティフィケートフェイシャル習得

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、10年間サロン運営やマネージメントの実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。
目的や効果は次回までに覚えてくる。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～2	準備（教室の使用方法） フェイシャルの目的や効果について	フェイシャルの目的と効果、肌について理解する。 セッティング・身だしなみ・心構えを知る・手の使い方
3～4	事前準備 スポンジふき取りの方法	ターバン・ドレーピング・誘導・施術がしやすい準備を知る。スポンジふき取りの仕方
5～6	デコルテマッサージ①	オイル塗布、体重移動の仕方、施術範囲、圧のかけ方を修得する
7～8	デコルテマッサージ②	軽擦法、強擦法、揉捻法、各手技の圧とアプローチ法を修得する
9～10	デコルテマッサージ③	一連の流れで、ふき取りも含めて正しいアプローチが出来るようになる
11～12	デコルテの小テスト	テキストを見ずに、手を止めることなくマッサージが出来るようになる
13～14	フェイシャルマッサージ①	手技の効果・目的を実際の手の動きを用いて理解する
15～16	フェイシャルマッサージ②	肌の状態や手技の目的に合った力加減を実践する
17～18	フェイシャルマッサージ③	骨格、筋肉が把握されていて、肌に密着した動きを行う
19～20	デコルテ～フェイシャルマッサージの通し①	リラクゼーションと肌改善目的で一連の流れで途切れることなくマッサージが出来るようになる
21～22	デコルテ～フェイシャルマッサージの通し②	気配りも入れた施術が出来るように、マッサージの目的を捉えた技術が出来るようになる
23～24	デコルテ～フェイシャルマッサージの通し③	圧・リズム・連動性・正しい場所をマッサージ出来るようになる
25～26	ポイントクレンジング	アイメイク、リップを手際よく落とせる トラブル回避も理解する
27～28	全体のクレンジング	ポイントメイク以外のメイク落としが出来るようになる
29～30	ポイントクレンジング～全体クレンジング	スチームタオルまでを20分以内で仕上げられるようになる

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	その他

エステティック実技テキスト（フェイシャル）（ICAM日本支部）	期末試験	100.0%	

作成者:高崎　千愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
エステティック基礎 （エステ基礎Ⅱ）		ビューティー総合学科/1年	2024/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60時間	必須	今井　美穂

授　業　の　概　要

ボディマッサージでは、手技の目的、その効果、どの部分に作用するのか、身体構造と手技の作用を理解し、リラクゼーション目的のボディマッサージを全身に施せる技術修得をする。また、個々の不調箇所に対応できる技術の修得をしお客様に合わせたボディマッサージが出来るようになる。

授業終了時の到達目標

・ボディトリートメントを行う際に正しい姿勢で行える。
・手技の目的や効果が説明できる。
・骨格や筋肉に合わせて手の使い方、圧の加減が出来る。
・全身のトリートメントが出来る。
・コースサーティフィケート（ボディ）が習得出来る。

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、11年間サロン運営やマネージメントの実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。
手順は次までに覚えてくるようにする。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～2	ボディマッサージとは？ コンサルテーションシート	マッサージの目的と効果を知る。人体の名称と区分を理解し、スタンスと基本６手技についての目的を理解し実践する。体重移動を理解する。
3～4	背面下肢部	背面下肢部デモンストレーションを行いながらのレクチャー筋肉の位置や方向を理解する。
5～6	背面下腿部	むくみのメカニズムを理解する。むくみを改善させる手技を知り実践する。リンパやリンパ節の位置や場所を理解する。
7～8	背部	背面部デモンストレーションを行いながらのレクチャー筋肉の位置や方向を理解する。
9～10	肩凝り対応技術	肩がこる時の筋肉を理解する。肩から首のトリートメント手技を学び実践する。
11～12	背面下肢、背部の技術通し	背面下肢、背部のトリートメントを行い、ふき取りまでを30分とし行う。
13～14	筋肉ほぐし施術	洋服の上から背面のコリをほぐすための手技を学び、実践する。
15～16	前面下肢部	前面下肢部デモンストレーションを行いながらのレクチャー。筋肉や骨の位置や方向を理解する。
17～18	前面下腿部	全面下肢部の応用としてムクミ取り手技を学ぶ。
19～20	腹部 便秘の方への応用技術	筋肉や骨の構造を理解し、内臓の位置に対して的確なアプローチ方法を知る。大腸に対しての技術応用を学ぶ。
21～22	上肢部、胸部	全面上肢部、胸部デモンストレーションを行いながらのレクチャー。効果・目的を理解する。
23～24	前面全体の技術通し	前面下肢、腹部、上肢部、胸部のトリートメントを行い、ふき取りまでを30分とし行う。
25～26	筋肉ほぐし施術	洋服の上から全面のコリをほぐすための手技を学び、実践する。
27～28	総合演習① コンサルテーションシート	苦手箇所強化（カウンセリングでの聞き出しから、相手に合わせて圧の加減が出来ているか確認）
29～30	全身ボディ施術	全体を通して55分で一連の流れをスムーズに行い、無理のない体重移動の確認。

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	その他
エステティック実技テキスト（ボディ編） （ICAM日本支部　発行）	期末試験	100.0%	

作成者:米澤　愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
メイクアップ基礎		ビューティー総合学科/1年	2024/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	米澤　愛

授　業　の　概　要

相手にメイクアップを施す際のマナーをはじめメイクアップの流れを学ぶ。時代背景と共に変化するメイクアップの特徴や歴史、メイクアップテクニックを学修する。ＴＰＯに合わせたメイクの特徴、メイクアップテクニックを理解する。

授業終了時の到達目標

・技術者としての心構えとマナーを身につける。
・ベーシックメイクの基本的なテクニックを習得する。
・テーマ別メイクアップの特徴を理解する。
・DMCIプリメールライセンスの取得

実務経験有無	実務経験内容
有	美容部員として２年間メイクの実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノートなどにより、予習復習に努め、授業の成熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～4	メイクアップ理念、基本作法	アーティストとしての心構えとマナーを理解する。１年間のカリキュラムの把握をする。
5～8	皮膚の構造、骨、筋肉、色彩理念	顔の構造を正確に認識する。スキンタイプを知り、タイプに合わせたスキンケア法を理解する。フェイスチャートの描き方
9～12	スキンケア～ベース基本工程	メイクアップ前のスキンケア（化粧水→美容液→乳液→化粧下地）の目的と基本行程を理解する。コットン、スポンジの使い方を知りスキンケア行程に取り組む。相モデルにて練習に取り組む。
13～16	スキンケア～ベース基本工程②	スキンケアの手順の復習。ベースメイク（メイクアップベース→コントロールカラー→ファンデーション→フェイスパウダー）の目的を理解する。相モデルにて練習に取り組む。
17～20	アイメイク、アイブロウ基本工程	スキンケア手順、ベースメイクの復習。アイメイク（アイカラー、アイライン、ビューラー、マスカラ）とアイブロウ（トリミング、ドローイング）のアイテムと目的を理解する。相モデルにて練習に取り組む。
21～24	チーク、リップ、ハイライト・シェーディング基本工程	チーク、リップ、ハイライト・シェーディングの目的を理解する。相モデルにて練習に取り組む。
25～28	基本工程の復習、確認①	通しでフルメイクを行い、仕上がりを見て全てのバランスをチェックを行い調整する。
29～32	基本工程の復習、確認②	通しでフルメイクを行い、全体のバランスの強弱を理解する。
33～36	顔の印象	パーツバランスと印象、輪郭と印象を理解する。皮膚の構造を理解する。
37～40	イメージメイク(キュート)	イメージに合った、パーツごとのメイクテクニックやイメージカラーを理解する。
41～44	イメージメイク（フレッシュ）	イメージに合った、パーツごとのメイクテクニックやイメージカラーを理解する。
45～48	イメージメイク(セクシー)	イメージに合った、パーツごとのメイクテクニックやイメージカラーを理解する。
49～52	イメージメイク(クール)	イメージに合った、パーツごとのメイクテクニックやイメージカラーを理解する。
53～56	プリメール対策④（メイクアップと印象）	カラートーン、メイクテクスチャー、フォルム、代表的なカラー、強弱によるメイクアップの印象を理解する。パーツや輪郭からくる顔の印象、皮膚の生理と構造についての確認テスト。
57～60	プリメール対策⑤（筆記試験・実技試験対策）	筆記試験の類似問題を解く。ナチュラルメイクアップの練習を相モデルで取り組み、苦手パーツの克服を行う。

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
DMCI　ディプロム・　マキアージュ・クレアティフ・アンテルナシオナル　アヴァン	・期末試験 ・提出物	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノートやプリントを使って復習。各日、メ

セレヴェル (Why Not international creations)			使って復習。各自、メイク練習ごに言われたアドバイスをノートに記録する。フェイスチャートの作成。

作成者:北野　美菜

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ネイル基礎		ビューティー総合学科 １年	2024/前期	講義・実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60 回	120 単位時間	必須	北野　美菜

授　業　の　概　要

ネイリストでのとしてトラブルなく安全に施術を行うために必要な基礎知識・爪の構造学・扱う薬剤・溶剤の商材知識と理論(ネイルの薬剤の中には特定危険薬物第4種に認定されているような扱う上で危険なもの・揮発性の高いもの・人体への影響など知った上で扱わなければ危険と紙一重なものが多くあります)その上で正しく扱うために実際触れながら学修する

授業終了時の到達目標

・爪の構造を知ることにより様々な爪の状態に対してどうアプローチしたら長持ちするかの対応力が上がりより良く理解する事ができる
・商材を知る事でより安全にお客様へ提供出来きる即戦力となるネイリストへの基礎レベルの向上を図る事ができる

実務経験有無	実務経験内容
有	ネイリストとして６年間ネイルサロンの実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～4	教材配布・説明・試験について学科とセッティング	教材内容の把握・試験内容・ネイリストとは？基本を理解・爪の構造と働き・テーブルセッティング・衛生面・手指消毒・ウッドスティックの作り方を行う
5～8	学科・ケアの基本手順①	ネイルの歴史・プッシュアップの重要性とやり方(甘皮とは？などの皮膚学)・ファイリング(カットスタイル)を理解する
9～12	学科・ケアの基本手順②	小テスト(カットスタイル・爪の構造と働き)・爪や皮膚の病気とトラブル・ファイリング・プッシュアップ・ガーゼクリーン・ニッパーまでを行う
13～16	学科・カラーリングの基本手順①	小テスト（爪の病気）・消毒法・カラーリングのやり方（ベース・カラー・トップ）ポリッシュオフ法・ポリッシュの扱い方・修正の仕方
17～20	カラーリングの基本②～流れ	小テスト（消毒）・カラーリングライン取り強化（キューティクルライン・サイドライン）ムラなく手早く塗る（はみ出しを減らす）
21～24	学科全般・検定施術の流れ	筆記対策として教科書チェック・施術の全体の流れ
25～28	筆記検定対策① 施術強化	筆記テスト（Ａ・Ｂ・Ｃ）・実技苦手箇所強化（ケア～カラーリング）
29～32	筆記検定対策② ネイルアート	筆記テスト（Ｄ・Ｅ）アクリル絵の具を用いてアートの書き方・バランス・筆の扱い方を理解する(検定試験を軸とする)
33～36	検定対策①行程チェック	検定試験に向けてひとつひとつの行程の見直し・実践・確認する
37～40	検定対策②(ケア・カラー)完成度強化	検定試験に向けて本格的にタイムを計り仕上がりの完成度と時間配分を理解する
41～44	検定対策③(ネイルアートまでの総合トータル)最終チェック	試験本番同様にタイムを計り学科・実技ともにトータル的な流れを通して最終確認をし理解する
45～48	検定対策④(ネイルアートまでの総合トータル)最終チェック	試験本番同様にタイムを計り学科・実技ともにトータル的な流れを通して最終確認をし理解する
49～52	検定対策⑤(ネイルアートまでの総合トータル)最終チェック	試験本番同様にタイムを計り学科・実技ともにトータル的な流れを通して最終確認をし理解する

53～56	検定試験とサロンワークの違い ジェルネイルの基本①	検定試験が終わりサロンワークの実践に必要な知識と違いについて理解する・ジェルネイルの基本（どういったものなのか、何を使うのか、アレルギー・材料の説明）
57～60	前期授業終了まとめ	今まで学んだ上での総まとめ実技・学科

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
NPO法人日本ネイリスト協会（JNA)発行 テクニカルシステムベーシック	期末テスト 実習・実技評価 小テスト 検定試験	70.0% 10.0% 10.0% 10.0%	各講義で実施した内容を教材などを使用して練習・復習すること

作成者:高崎　千愛

科　目　名	学科／学年	年度／時期	授業形態
サロンワーク実務Ⅰ	ビューティー総合学科/1年	2024/後期	実習

授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	高崎　千愛

授　業　の　概　要

学生サロン（AER）で、店舗実習を行うに際して、エステ・メイク・ネイル等の技術、接客、カウンセリング等の技術修得、実際のサロンワークを実施出来るレベルまで学修する。

授業終了時の到達目標

・サロン接客、カウンセリングが出来る。
・ホームケアアドバイスが出来る。
・個々の肌や身体に合わせた技術が出来る。
・チームで働くことが出来る。
・目標達成が出来る。

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、10年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～4	学生サロンAERについて ドライヘッドマッサージ	AERについて（メニュー内容、金額、顧客の年齢層等） ヘッドマッサージレクチャー、相モデルで実践
5～8	ドライヘッドマッサージ ハンドマッサージ	ヘッドマッサージ、ハンドマッサージを相モデルにて行い技術修得する
9～12	ヘッド・ハンドマッサージ クイックマッサージ	ヘッド・ハンドマッサージは繰り返し行うことにより技術力を深める、クイックマッサージは骨格と筋肉を理解しながら行う
13～16	クイックマッサージ ネイルオン・オフの練習	クイックマッサージは圧、リズム、時間配分を修得する ジェルネイルオン・オフの完成度を高める
17～20	AER実店舗実習①	お客様誘導、カウンセリング、超音波、ご案内、アフターカウンセリング、現場で確認すべきことを修得する
21～24	AER実店舗実習②	お客様誘導、カウンセリング、超音波、ご案内、アフターカウンセリング、現場で確認すべきことを修得する
25～28	AER実店舗実習③	お客様誘導、カウンセリング、超音波、ご案内、アフターカウンセリング、現場で確認すべきことを修得する
29～32	むくみ取り ドライヘッドマッサージ	ひざ下むくみとり40分の手順とヘッドマッサージ20分の時間配分、圧加減を修得する
33～36	ネイルケア～ジェルオン① ジェルネイルオフ	ワンカラーで一連の流れで正しく施術が出来る ジェルネイルオフが手際よく出来る
37～40	ネイルケア～ジェルオン② ジェルネイルオフ	ワンカラーで一連の流れで時間内に施術が出来る ジェルネイルオフが60分以内で出来る
41～44	ドライヘッドマッサージ ハンドマッサージ	反復連取で制度を上げる （時間配分・圧加減・リズム・お声かけの定着）
45～48	クイックマッサージ むくみ取り	反復連取で制度を上げる （時間配分・圧加減・リズム・お声かけの定着）
49～52	ジェルネイルオフ～オンまで	反復連取で制度を上げる （時間配分・仕上がり・お声かけの定着）
53～56	AERチケットトーク サブスクトーク	新規お客様へのご提案が出来るようになる

57～60	ホームケアアドバイス	ボディ、フェイシャルのお客様へのホームケアアドバイスが出来る

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	その他
エステティック実技テキスト（ボディ編）（ICAM日本支部　発行） JNAテクニカルシステムベーシック改正版（NPO法人日本ネイリスト協会　教育委員会） エステティック実技テキスト（フェイシャル編）（ICAM日本支部　発行）	サロン評価	100.0%	

作成者:高崎　千愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティー応用実習Ⅰ（選択エステ）		ビューティー総合学科/1年	2024/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	今井　美穂

授　業　の　概　要

フェイシャル機器の安全な使用方法を知る。機器使用での効果。どの部分に効果があるのか、どの筋肉・皮膚に効果があるのか、商材（種類の違うパック）の成分にどんな効果があるのかを、実際に相モデルで実践しながら学修する。

授業終了時の到達目標

・スエディッシュマッサージが体格に合わせて出来る
・各身体の不調箇所に合わせたマッサージが出来る
・気遣いのある施術が出来る
・フェイシャル施術がお客様に入れるレベルに到達する

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、11年間サロン運営やマネージメントの実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。
各機器の禁忌事項、注意事項を次までに覚えてくる。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～2	むくみに効果的な技術修得	むくみのメカニズムを理解したうえで正しい技術を行う
3～4	肩凝り、腰痛を和らげる技術修得	骨、筋肉を理解し、正しいアプローチを修得する
5～6	胃腸活性技術修得	消化器を理解し正しいアプローチがを修得する
7～8	身体トラブルを見分けられる	むくみ、凝り、張り、ゆがみ、肉割れ、乾燥、セルライト、脂肪を見極められる知識修得
9～10	身体チェック→その人に合わせたボディ施術	モデルの身体を把握し不調箇所に合わせた施術を行う
11～12	フェイシャルマッサージ強化①	筋肉と骨格を理解し正しいアプローチでマッサージが出来るようになる
13～14	フェイシャルマッサージ強化②	モデルを変え筋肉と骨格を理解し正しいアプローチでマッサージが出来るようになる
15～16	テキスト以外のボディマッサージを研究する	基本6手技の幅を出すために技術研究を行い共有する
17～18	技術発表	トラブル別でチームを分け研修した技術を披露し情報の共有をし施術レパートリーを増やす
19～20	身体に合わせたボディ施術①	今まで修得した技術を組み合わせて相手に合わせた施術を行う
21～22	肌に合わせた施術①	肌診断をし化粧品選定、機器選定行い、マッサージを組み立てられる
23～24	身体に合わせたボディ施術②	今まで修得した技術を組み合わせて相手に合わせた施術を行う
25～26	肌に合わせた施術②	肌診断をし化粧品選定、機器選定行い、マッサージを組み立てられる
27～28	カウンセリング～施術組立90分以内の施術①	カウンセリングで相手のお悩みや不調箇所を洗い出し その方に合わせた施術を行う
29～30	カウンセリング～施術組立90分以内の施術②	モデルを変え上記行う

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	その他

エステティック実技テキスト（フェイシャル編）（ICAM日本支部　発行）	期末試験	100.0%	

作成者:米澤　愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティー応用実習Ⅰ（選択メイク）		ビューティー総合学科/1年	2024/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	米澤　愛

授　業　の　概　要

相手にメイクアップを施す際のマナーをはじめメイクアップの流れを学ぶ。時代背景と共に変化するメイクアップの特徴や歴史、メイクアップテクニックを学修する。ＴＰＯに合わせたメイクの特徴、メイクアップテクニックを理解する。

授業終了時の到達目標

・技術者としての心構えとマナーを身につける。
・ベーシックメイクからイメージメイクアップまで、さまざまなメイクテクニックを理解し、その特徴を説明することができる。
・テーマに合わせて自らタイトルとコンセプトを決め、イメージした作品を作り出す基礎知識を修得する。

実務経験有無	実務経験内容
有	美容部員として２年間メイクの仕事に従事する

時間外に必要な学修

講義ノートなどにより、予習復習に努め、授業の成熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～2	イメージメイク(ハロウィン)	イメージに合った、パーツごとのメイクテクニックやイメージカラーを理解し、メイクアップで的確に表現する
3～4	肌別スキンケア、スペシャルケア	肌に合わせたスキンケア、メイクアップの確認と特別なお手入れ方法について学ぶ
5～6	パーソナルカラー別メイクアップ	パーソナル診断からイエローベースにあったメイクを理解しメイクで表現する。
7～8	パーソナルカラー別メイクアップ	パーソナル診断からブルーベースにあったメイクを理解しメイクで表現する。
9～10	パーツごとの修正方法（ベースメイク）	パーツの修正方法を理解し、メイクアップで的確に表現する
11～12	パーツごとの修正方法（アイブロウ）	イメージに合った、パーツの修正方法を理解し、メイクアップで的確に表現する
13～14	パーツごとの修正方法（目元）	イメージに合った、パーツの修正方法を理解し、メイクアップで的確に表現する
15～16	パーツごとの修正方法（口元）	イメージに合った、パーツの修正方法を理解し、メイクアップで的確に表現する
17～18	アイテム別メイクアップ	共通のアイテムを使用し、使用アイテムからメイクアップを考え、表現する。
19～20	アイテム別メイクアップ	共通のアイテムを使用し、使用アイテムからメイクアップを考え、表現する。
21～22	お悩み別メイクアップ	カウンセリングからお客様のお悩みに沿ったメイクのご提案をする。
23～24	お悩み別メイクアップ	カウンセリングからお客様のお悩みに沿ったメイクのご提案をする。
25～26	トレンドメイク	トレンドのメイク、アイテムの使用方法、テクニックを理解する
27～28	トレンドメイク	トレンドのメイク、アイテムの使用方法、テクニックを理解する
29～30	期末テスト対策	1年間のまとめ、復習

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
DMCI　ディプロム・　マキアージュ・クレアティフ・アンテルナシオナル　アヴァン	・期末試験 ・提出物	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノートやプリントを使って復習　各日　メ

セレヴェル (Why Not international creations)			使って復習。各自、メイク練習ごに言われたアドバイスをノートに記録する。フェイスチャートの作成。

作成者:北野　美菜

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティー応用実習Ⅰ（選択ネイル）		ビューティー総合学科1年	2024/後期	講義・実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30 回	60単位時間	必須	北野　美菜

授　業　の　概　要

サロンワークでのネイルに関してのサービスをお客様へ提供する上で基礎デザイン技術・検定希望受験者はジェルネイル検定や基礎的な知識や技能を学修する。

授業終了時の到達目標

学生サロンにてより高い技術の提供が可能となる
実践方式で提供出来る幅が広がる事によりリピートして頂くお客様を増やすことが可能となる
実践を重ねることにより施術する際の自信に繋がる
ネイリストとしての検定技術を習得し、就職後に活かせれる

実務経験有無	実務経験内容
有	ネイリストとして６年間ネイルサロンの実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～2	サロンワークジェルネイル①（アート基本編）	基本のアート(丸・直線・カーブ・細さ・太さ・筆圧）の書き方を理解し実践する
3～6	サロンワークジェルネイル②（アート基本編）	基本のアート(２色・３色のマーブル・タイダイ柄・大理石）の書き方を理解し実践する
7～10	サロンワークジェルネイル③（アート基本編）	基本のアート(２色・３色のグラデーション）の書き方を理解し実践する
11～12	サロンワークジェルネイル④（アート基本編）	基本のアート(奥行きあるデザイン）の書き方を理解し実践する
13～14	サロンワークジェルネイル⑤（アート基本編）	基本のアート(アイシングジェルを使った）の書き方を理解し実践する
15～20	サロンワークジェルネイル（フットネイル）	フットケア理論・トラブル爪に対する対処法等・ジェルの工程を理解する
21～22	サロンワークジェルネイル③（アート応用編）	ジェルを使ったネイルアートを様々な技法で描く方法を理解する（オーダーチップ作成）
23～24	サロンワークジェルネイル①（アート応用編）	ジェルを使ったネイルアートを様々な技法で描く方法を理解する（オーダーチップ作成）
25～28	サロンワークジェルネイル②（アート応用編）	ジェルを使ったネイルアートを様々な技法で描く方法を理解する（オーダーチップ作成）
29～30	1年授業終了まとめ	今まで学んだ上での総まとめ実技・学科

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
NPO法人日本ネイリスト協会 (JNA)発行	期末テスト	70.0%	各講義で実施した

作成者:杉原　美佐子

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
サロンワーク接遇		ビューティー総合学科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	杉原　美佐子

授　業　の　概　要

接遇の基本の習得が本科目の目的である。接遇ができるようになるだけでなく、サービス提供者としての資質を身に付け、組織の一員となれるよう社会人としての意識の醸成を通して、社会人としての心構えなどを修得する。

授業終了時の到達目標

・敬語・接遇用語が話せる
・美しい立ち居振る舞いができる
・サロンでお客様対応ができる（受付・ご案内・お見送り）

実務経験有無	実務経験内容
無	

時間外に必要な学修

テキストの事前学修とプリントの振り返りを必ず実施すること。

回	テ　ー　マ	内　　容
1	社会人の心構え	・学習の計画を知る ・社会人の行動と考え方
2	基本行動	・基本動作（あいさつ・立つ・座る・入室の仕方） ・3種類の挨拶
3	敬語のマナー/敬語の基本	・敬語の基本 ・尊敬語・謙譲語・丁寧語
4	敬語のマナー/接遇用語	・クッション言葉　　・大人の表現（副詞の改まり語） ・敬称の使い分け
5	敬語のマナー/言葉遣いのまとめ	・間違っている敬語（二重敬語・謙譲語の誤用） ・接遇としての言い方
6	敬語のマナー/言葉遣い演習　基礎	・言葉遣いの基礎演習
7	敬語のマナー/言葉遣い演習　応用	・言葉遣いの応用演習
8	敬語のマナー/言葉遣い演習　総合	・言葉遣いの総合演習
9	来客応対/受付から見送りまで	・受付の基本　・名刺交換 ・来客誘導　　・見送り
10	来客応対/席次とお茶出し	・席次の基本 ・茶菓子接待のマナー
11	来客応対/ロールプレイング演習基礎	・出迎え　・見送り ・案内
12	来客応対/ロールプレイング演習基礎	・受付　　・名刺交換 ・名乗り
13	来客応対/ロールプレイング演習総合	・来客対応の総合ロールプレイング
14	来客応対/ロールプレイング演習応用（前半）	・サロンを想定した来客対応の演習　出迎え～案内
15	来客応対/ロールプレイング演習応用(後半)	・サロンを想定した来客対応の演習　カウンター誘導～見送り

回	テ　ー　マ	内　　容
16	電話応対/電話の基本	・電話対応の基本 ・話し方　　・携帯電話のマナー
17	電話応対/電話をかける	・電話のかけ方
18	電話応対/電話を受ける	・電話の受け方 ・取り次ぎ方
19	電話応対/不在対応	・不在対応 ・伝言メモの書き方
20	電話応対/ロールプレイング演習基礎	電話対応の演習（かける・受ける）
21	電話応対/ロールプレイング演習応用	電話対応の演習（不在対応）
22	ビジネス文書/基本	・ビジネス文書の種類 ・基本的な書き方
23	ビジネス文書/社内文	・社内文書のフォーマット ・作成のポイント
24	ビジネス文書/社外文	・社外文書のフォーマット ・手紙用語
25	ビジネス文書/メール	・ビジネスメールのマナー
26	ビジネス文書/演習	・社内文書の作成（報告書・議事録） ・社外文書の作成（案内状）
27	ビジネス文書/郵便の知識	・はがきの書き方 ・封書の書き方
28	一般的な交際/冠婚葬祭	・慶事のマナー ・弔辞のマナー
29	一般的な交際/贈答	・贈答のマナー
30	コミュニケーションと人間関係	・上司、先輩、同僚との付き合い方 ・お客さまとの会話

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
テキスト： 女性のビジネスマナー パーフェクトブック	学期末試験（演習課題） 提出物	70% 30%	各回で配布したプリント・およびノートを復習すること。

作成者:高崎　千愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
キャリア・ デペロップメントⅠ		ビューティー総合学科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	今井　美穂

授　業　の　概　要

就職活動に向けて、自分が思う長所・短所、他人が思うそれとの違いを分析し、自己アピールの際での表現力の育成を目指す。あわせて、履歴書、志望動機、面接に於ける応答内容の学修。

授業終了時の到達目標

・美容業界を知り、進む業界を明確にすることが出来る。
・自己分析を行い自分の長所・短所が説明できる。
・文章で自分の思いを伝え事が出来る。
・自分の思いを言葉で相手に伝える事が出来る。

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、11年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

授業内で作成出来なかったワークは宿題とする。予習と復習を各時間ごとに行う

回	テ　ー　マ	学修内容
1	専門学生としての決意 自分を成長させるために	「高校生と専門学生との違い」についてのディスカッションで成長させる部分を見つける。
2	業界リサーチ①	エステ・ネイル・BAとはどんな業界かをグループで調べる。（1チーム4名）
3	業界リサーチ②	業界を調べて分かった事を発表。
4	企業リサーチ①	エステ・ネイル・BAの企業をグループで調べる。（1チーム4名）
5	企業リサーチ②	どういった企業があったかを見直し、素晴らしいと感じた企業を発表。（素晴らしいと感じた部分を伝える）
6	働きたい業界・職種 未来の自分を思い描く	働きたい業界・職種はどんな人材を求めているのかを学ぶ。
7	学生生活と社会人生活の違いについて	学生と社会人との違いを知り、社会人に求められる心構えを学ぶ。
8	自己分析①	自分の過去を振り返り、自分の性格（長所・短所）や資質、能力を発見する。
9	自己分析②	自分は何が出来て、どう行動する事ができるのかを明確にする。
10	自己分析③	行動によって何が得られたかを明確にする。
11	自己PR作成	自分の最大の特長をエピソードを交えて作成する。
12	グループディスカッション①	グループディスカッションでは何を見られているかを知る
13	ライフスタイル（人生観） 会社選びのこだわりと優先順位	ライフスタイルを書き出し、会社選びのこだわりを優先順位をつけ、説明できるようにする。
14	リクナビ・マイナビ	リクナビ・マイナビへの登録 活用方法
15	メールの送り方	メール使用上の注意点、メールの文例、資料の添付の仕方を学修する。

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	その他

面接対策＆ビジネスマナー（株式会社ウイネット）	提出物 期末試験	20.0% 80.0%	

作成者:高崎　千愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
キャリア・ デペロップメントⅠ		ビューティー総合学科/1年	2024/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	今井　美穂

授　業　の　概　要

就職活動に向けて、自分が思う長所・短所、他人が思うそれとの違いを分析し、自己アピールの際での表現力の育成を目指す。あわせて、履歴書、志望動機、面接に於ける応答内容の学修。

授業終了時の到達目標

・美容業界を知り、進む業界を明確にすることが出来る。
・自己分析を行い自分の長所・短所が説明できる。
・文章で自分の思いを伝え事が出来る。
・自分の思いを言葉で相手に伝える事が出来る。

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、11年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

授業内で作成出来なかったワークは宿題とする。予習と復習を各時間ごとに行う

回	テ　ー　マ	学修内容
1	就職について 履歴書・エントリーシート・面接の目的	履歴書・エントリーシートの重要性。面接がなぜ行われるのか・採用担当者が求めるものを考える。面接試験の形式について学修する。
2	自己PR作成①	自分の強みをしり、キャッチコピーを作る。
3	自己PR作成②	キャッチコピーを含め自己PR文章を作成する。
4～6	就職レクチャー期間①	就職活動とは、方法と、就活の流れ、強化点を知り 自分を表現できる
7～9	就職レクチャー期間①	模擬面接で自分の現状を把握し改善点を洗い出し目標を決める
10	就職特講 履歴書の正しい書き方について	就職活動に向けて履歴書の正しい書き方を学ぶ。実際に書いてみる。
11	面接でのスピーチ練習	自己PRを言葉にして相手に伝える事を学ぶ
12	面接でのスピーチ練習	志望動機を言葉にして相手に伝える事を学ぶ
13	グループディスカッション②	４～５名のチームを編成し、テーマに基づきディスカッションを行う。
14～16	就職レクチャー②	模擬面接・振返り・課題点を見出し就職活動に繋げる
17～19	就職レクチャー②	模擬面接・振返り・課題点を見出し就職活動に繋げる
20～22	就職レクチャー②	ジョブカードの使い方 就活メイク、履歴書用写真を撮る
23	企業研究①	企業研究の方法、自分の価値観に反映する企業選びとは
24	企業リサーチ	就職希望地域を決め、第3候補まで志望する会社を決め アウトプットで一覧に記入し行動計画を立てる
25～27	就職レクチャー③	業界講話、企業ガイダンスに参加する

28～30	就職レクチャー③	業界講話、企業ガイダンスに参加する		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
面接対策＆ビジネスマナー（株式会社ウイネット）		期末試験		